

# ACANTHUS



徳島文理大学イルミネーション点灯式（徳島キャンパス）

## 特集

## 薬学部 浅川義範教授 GUSI 国際平和賞を受賞

## Index

学長挨拶 .....	2	インターンシップ体験記 .....	13
学園創立 120 周年 .....	3	先輩からの手紙 .....	14
アカンサス会（同窓会）会員の皆さまへ .....	3	【連載】研究室への誘い 大学院看護学研究科 .....	16
新 2 号館 上棟式 .....	3	大学祭（山城祭・杏樹祭） .....	18
<b>【特集】浅川教授 GUSI 国際平和賞を受賞</b> .....	4	クラブ・サークル紹介 .....	19
Close-up campus クローズアップキャンパス .....	6	クラブ・サークル大会結果 .....	19





## 「性格スキル＝非認知能力」を磨いて人生の成功者に



学長 桐野 豊

シカゴ大学のジェームズ・ヘックマン教授は2000(平成12)年にノーベル経済学賞を受賞した経済学者ですが、教育について研究してきました(経済学では人を人的資源と考えるので、教育は人的資源を増大させるためのものと考えられます)。ヘックマンと2人の大学院生による最近の著作『The Myth of Achievement Tests, The GED and the Role of Character in American Life(シカゴ大学出版部、2014)』は、教育関係者にとって大変示唆に富む内容であります。

著書の中でヘックマンらは、人間の

能力は単一ではなくいろいろあるが、大別すれば2種類であると述べています。一つはペーパーテストで測ることができる「認知スキル(認知能力)」、いわゆる学力であり、もう一つは学力で測ることのできない第二の能力「性格スキル(非認知能力)」であるとしています。我が国と同様に、米国においても学力が人の能力の多くを表しているという考えが広く信奉されていますが、学力テストでは測れない能力があることは万人の認めるところであり

ます。ヘックマンらの研究では、人生の成功度を労働市場における成功度(失業率が低い、生涯収入が多いなど)や健康であること、犯罪を犯さないことなどにより表すと、それらは学力との相関は低く、性格スキルと高い相関性があることが実証されています。

性格スキルを心理学の言葉で表すと次の5つの要素からなります。

1. 真面目さ、律義さ
2. 開放性(許容性)
3. 外向性(関心が外の世界に向かっていること)
4. 協調性(利己的でない)
5. 精神的安定性

ヘックマンらは、GED(General Educational Development)と呼ばれる米国の高等学校卒業程度認定試験を用いて詳細な研究を行いました。GEDは日本の高等学校卒業程度認定試験にあたるもので、現在米国では、高校卒業証明書の12%がGEDによるものであります。GED合格者の認知スキルは高校卒業者と同程度ですが、人生の成功度では高校卒業者におよばないことがデータにより実証されています。

私見では、認知スキルよりも性格スキルが人生の成功度と相関しているのは、同じように知識を獲得するにも単なる知識の受け渡し(例えばe-learningによるなど)ではなく、実際に学校に通い、教員・同級生・先輩・後輩らと交わることで性格スキルが向上し、そのことによって人生の成功度が増しているのではないかと推測しています。

性格スキルは大人になってからも伸びるスキルですから、学生の皆さんには総合大学である本学で、知識を積極的に獲得するとともに、さまざまな人たちとより良い人間関係を構築することで性格スキルを磨いて人生の成功者になることを期待しています。

村崎  
学園

# 学園創立 120 周年

「自立協同」の建学精神は、学祖村崎サイが1895(明治28)年7月、徳島に私立裁縫専修学校を設立した歴史に由来します。以来「自立協同」の建学精神が脈々

と受け継がれ、2015(平成27)年7月には学園創立120周年を迎えます。これを記念して、次の行事等を予定し、計画を進めております。

### 主な行事予定

2015年	4月18日(土)	記念式典
	5月17日(日)	感謝の会
	8月15日(土)	小学校 ホームカミング
	10月10日(土)	徳島キャンパス ホームカミング
2016年	10月17日(土)	香川キャンパス ホームカミング
	1月2日(土)	中・高 ホームカミング

120周年  
ロゴ



総合学園の本学園は創立120周年を迎えます。学園を代表する幼・小・中・高・大の未来あふれる若者を明るく5色で表現しました。学内装飾・広報紙・グッズ等を明るく120周年ロゴが彩っております。

同窓会

## アカンサス会(同窓会)会員の皆さまへ

◇ホームカミングの開催 ◇「アカンサス会奨学金」の設立 ◇アカンサス支援金募集

アカンサス会では、学園創立120周年を記念して、ホームカミングの開催を予定しています。

ホームカミングは、同窓会活動の一環として10年ごとに実施しており、120周年の2015(平成27)年は、徳島キャンパスでは10月10日(土)、香川キャンパスでは10月17日(土)を予定しています。この機会に、全国の卒業生が母校に集まり、いろいろな催しや懇親会などを通じて、恩師や友人との語らいを楽しんでい

ただければと思います。会員の皆さまはもちろん、ご家族でお誘いあわせの上、ぜひご参加ください。ホームカミングの詳細につきましては、後日ご案内させていただきますのでご期待ください。

また、2015(平成27)年4月からの入学生を対象として「アカンサス会奨学金」を設立いたしました。この「アカンサス会奨学金」は、同窓会会員のお子さまが入学された場合、一人につき「10万円」を支給する制度です。

この奨学金を末永く維持継続するための財源として、新たにアカンサス(独自の)支援金を募集して参ります。ぜひこの主旨に賛同いただき、ご支援をくださいますようお願いいたします。

これからの徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部同窓会「アカンサス会」が、身近な同窓会、未来につながる同窓会として充実することをめざし活動して参ります。温かく見守り、ともに育んでくださいますようよろしくお願いいたします。

## 新2号館 上棟式

2014(平成26)年12月5日(金)、村崎学園創立120周年記念事業の一環として新2号館上棟式が挙行されました。(株)教育施設研究所、西松建設(株)、(株)四電工、本学園教職員参列のもと、無事に新2号館が完成することを祈願いたしました。

新2号館は、450席のアカンサスホール、地域連携センター、保健センター等を有する予定で、在学生・教職員の利用だけでなく、地域と大学のつながりを目的とした各種セミナー等の実施も計画しております。

上棟式終了後には、徳島文理大学附属幼稚園全園児、徳島文理小学校全児童を新2号館前に招き、「餅投げ」を実施しました。学園創立120周年を学園全体で祝うとともに、伝統

文化の継承を園児・児童が体験することができた貴重な機会となりました。



Gusi International Peace Prize Foundation  
2014 Annual Gusi Peace Prize International Awards  
November 23 to 28, 2014

# 薬学部 浅川教授 GUSI 国際平和賞を受賞

2014 (平成 26) 年 11 月 26 日(水)にフィリピンで開催された第 12 回 GUSI 国際平和賞授賞式に薬学部の浅川義範教授が出席しました。数千人の招待客が見守る中、GUSI 国際平和賞財団理事であるバリ・ソテジョ・グシ氏 (元在米フィリピン大使) より浅川教授に GUSI 国際平和賞の盾が授与されました。

この賞は、現在の財団法人理事長のご両親の世界平和に対する強い思いを実現するべく設立するに至った経緯があり、あらゆる分野で国際平和に貢献している個人あるいは団体に贈られる国際平和賞です。今やアジアの国際平和賞と称され、かのノーベル平和賞に匹敵するものとなっています。

これまで日本人の GUSI 国際平和賞受賞者は、大平猪一郎

博士 (プロバイオ健康乳酸菌発酵食品「OM-X」の開発者)、菅波 茂博士 (国際医療ボランティア AMDA の創立者・代表) が受賞しており、日本人として浅川教授は 3 人目の受賞者になります。

浅川教授の受賞理由は、「アジア植物化学協会会長、香料・テルペン・精油に関する討論会会長、元日本蕨類学会会長、徳島文理大学生薬研究所長、薬学部教授などとして諸外国での特別講演、また国際有機化学、国際生薬学会議およびシンポジウムの組織委員長を務めたことや、蕨類、シダ類、薬用植物、非食菌類および昆虫類の生物活性二次代謝物の単離、構造決定およびそれらの活性試験、植物二次代謝物のカビおよび動物による生物変換、天然有機化合物の全合成、有機過酸化物による化学反応、孢子植物の化学系統進化の国際的卓越した研究成果」など、その功績と偉業は、日本国内はもとよりアジアおよび国際的集団に広く認識されており、上記の他に抗肥満効果のあるグレープフルーツの香り成分の工業的合成法を確立した特許や 2007 (平成 19) 年に長い努力の結果、マレーシアに各地域代表を一堂に集めてアジア植物化学協会を設立し、7 年にわたり本協会会長として尽力してきたこと。さらに、2015 (平成 27) 年には本学にタイ王女を迎え、「アジア植物化学協会発足シンポジウム 2015」を開催予定など、国際的に科学分野で活躍。またフランス語など諸外国語に長け、ポリネシア、東南アジア、マダガスカルなどにおける植物保護活動なども高く評価されていることがあげられます。



フィリピン マニラ市での授賞式の様子



GUSI 国際平和賞 2014 (平成 26) 年 受賞者の方々 (右から 5 番目が浅川教授)



浅川義範教授

## 浅川教授 受賞のことは

薬学部に日本 4 台目となる 400MHzNMR\* の購入を決定された前理事長の決断、600 MHzNMR、700MHzNMR、次世代シークエンサーなどの大型機器を現村崎正理事長が導入して下さったことにより、薬学部および香川薬学部の植物化学、有機化学、分析化学の発展は目をみはるばかりであり、これら大型機器分析による研究成果で GUSI 国際平和賞を与えていただいたことは間違いのないと思っています。本学の両理事長に感謝を申し上げます。

また今回数千人の候補者の中から私を GUSI 国際平和賞の一人に選出していただき、言葉では表せないほどの厳粛大きな授賞式典を開催され、数々の励ましのお言葉と来年度から 2 年間、本国際賞財団法人の理事のポジションまで与えていただいた GUSI 国際平和賞財団法人理事長のバリ・グシ氏、奥さまのエベリン・グシ博士理事、同財団理事の方々、受賞者の警備に当たられた方々を含むフィリピン政府関係者、そしてフィリピン全ての皆さまに感謝の意を表します。さらに、本学でこれまで一緒に研究に努力して下さった学生たち、博士研究員そして全薬学部教職員に対して深く感謝いたします。まだまだ完成にほど遠い蕨植物化学研究を命ある限り深奥を探りたく思う日々です。そして今、2015 (平成 27) 年夏に、徳島県にタイ王女さまを迎えて開催する「アジア植物化学協会発足シンポジウム 2015」に向けて全力で取り組んでいます。なにとぞ皆さままで参加して下さいますようお願いいたします。

また今回数千人の候補者の中から私を GUSI 国際平和賞の一人に選出していただき、言葉では表せないほどの厳粛大きな授賞式典を開催され、数々の励ましのお言葉と来年度から 2 年間、本国際賞財団法人の理事のポジションまで与えていただいた GUSI 国際平和賞財団法人理事長のバリ・グシ氏、奥さまのエベリン・グシ博士理事、同財団理事の方々、受賞者の警備に当たられた方々を含むフィリピン政府関係者、そしてフィリピン全ての皆さまに感謝の意を表します。さらに、本学でこれまで一緒に研究に努力して下さった学生たち、博士研究員そして全薬学部教職員に対して深く感謝いたします。まだまだ完成にほど遠い蕨植物化学研究を命ある限り深奥を探りたく思う日々です。そして今、2015 (平成 27) 年夏に、徳島県にタイ王女さまを迎えて開催する「アジア植物化学協会発足シンポジウム 2015」に向けて全力で取り組んでいます。なにとぞ皆さままで参加して下さいますようお願いいたします。

\*NMR…核磁気共鳴装置のことで、これを使うことにより構成原子の水素と炭素の構造上の情報を得ることができる。



GUSI 国際平和賞 2014 (平成 26) 年 受賞候補の方々

## 浅川 義範 (あさかわ よしのり) 教授

### 【研究者略歴】

- ◆生年月：1941 (昭和 16) 年 8 月
- ◆学 歴：広島大学大学院理学研究科博士課程修了
- ◆学 位：理学博士 (広島大学 / 1972. 2)

### ◆主な職歴

広島大学理学部化学科助手、ルー・バスツール大学博士研究員 (フランス)、科学研究所員 (フランス)、徳島文理大学薬学部教授、生薬研究所長、薬学部長、薬学科長、徳島大学、富山大学、岡山大学、東京薬科大等非常勤講師、ルブリン医科大学客員教授

### ◆専門分野

天然有機化学、植物化学

### ◆所属学会

日本薬学会 日本生薬学会 日本化学会 アジア植物化学協会 国際蕨類学会 日本蕨類学会 日本植物化学会 徳島生物学会等

### ◆現在の研究

- 1) 蕨類の生物・化学多様性：二次代謝物の単離・構造決定・生物活性試験および同植物の化学系統分類、化学進化
- 2) 動植物二次代謝産物および合成有機化合物の微生物変化による機能性化合物の創製
- 3) 海洋微生物から新規抗生物質の探索および分子生物学的合成研究

### 【主な業績】

- ◆受賞について  
国際植物化学賞、国際蕨類学会賞、国際精油シンポ賞、国際 Jack Cannon ゴールドメダル賞、徳島新聞賞 (科学部門) 等受賞。



表彰台へ誘導される浅川教授

保健福祉学部

## チヨダ地域保健推進賞 受賞 助産学専攻科 森脇智秋 准教授

徳島県は、乳児死亡率や新生児死亡率が高く推移しており、未来の社会を担う若者への支援が課題となっています。私は、思春期の子どもたちへの支援を10年以上行っており、徳島保健所主催の2014(平成26)年度「とくしま未来きらめく若者ピアカウンセリング定着推進事業」の実施にあたり協力いたしました。またこの事業のピアカウンセラー養成講座を定着させるために、私自身もピアカウンセラー養成者の認定講師になれるよう研修を続けております。

今回、徳島保健所の推薦を受けて、徳島ピアカウンセラー養成講座検討会の代表として、「チヨダ地域保健推進賞」をいただきました。今後、徳島保健所と連携してこの事業が定着できるよう、地域の思春期の子どもたちのためにがんばりたいと思います。



チヨダ地域保健推進賞を受賞した森脇准教授(写真中央)

短期大学部

## 学生プレゼンテーション大会 優秀賞受賞

2014(平成26)年8月30日(土)に高松大学で開催された「第9回 学生プレゼンテーション大会」(日本ビジネス実務学会・中国四国ブロック研究会主催)に言語コミュニケーション学科1年の小西ひかるさんと明神佳乃さんが「韓国短期留学を終えて：類似する異文化に触れて学んだこと」というタイトルで出場しました。韓国の檀國大学での夏期短期留学の経験をもとにした日本と韓国の比較を2人が英語でプレゼンテーションしたもので、審査委員からは「制限時間を延長して、もっと詳しく話を聞きたくなる内容だ」というコメントをいただき、優秀賞を受賞することができました。



優秀賞を受賞した明神佳乃さん(左)と小西ひかるさん(右)

卒業生の活躍

## 「第7回 辰野千壽教育賞」を受賞して 美馬市立江原中学校 福田 恵氏



2014(平成26)年7月の読売教育賞受賞に続き、今回、偉大なる教育・研究業績の精神を受け継ぎ、我が国の教育に多大な影響を与える優れた教育・研究の振興に貢献する目的で作られた「辰野千壽教育賞」を受賞することができ、驚きとうれしさでいっぱいです。また、新聞報道により、この受賞を徳島文理大学関係者の方々から非常に喜んでくださっていると知り、母校に少しでも貢献し、後に続く学生の小さな灯火になれば幸いです。

時代の激しい変化やグローバル化に対応していくために、英語教育は社会から変革を大きく要求され、「使える英語力やグローバル市民としての資質」を授業で身につけてもらわなければなりません。それらに対応するため、「自立学習」「協同学習」「自尊感情の向上」をテーマに学習者心理にそった英語教育を実践してきました。これらのテーマは徳島文理大学の建学の精神である、「自立協同」と重なります。在学中にこの建学の精神を学び、仕事を通して実践し全国で評価されたことはこの上ない喜びです。今後もこの受賞と母校徳島文理大学を誇りに思い、新たな挑戦を続けていきたいと思っています。

【福田 恵氏 プロフィール】徳島文理大学文学部英米文学科1988年(昭和63年)卒業。大学卒業後、徳島県英語教員として勤務。現在は美馬市江原中学校に在籍。全国英語教育学会員、四国英語教育学会員、英語授業研究会会員、各研修で、講演や講師を務める。第63回読売教育賞外国語教育部門最優秀賞、第7回辰野千壽教育賞優秀賞、第4回全国教育実践活動コンテスト最優秀賞受賞、徳島教育実践論文入賞など受賞多数。

クラブ・サークル

## ハーネス連より 徳島文理大学連に感謝状

徳島文理大学連は、一年を通して、若さと活気の溢れる阿波踊りを踊っています。連員のほとんどが、「阿波踊り」に魅せられて、大学入学後に、阿波踊りを始めています。また、連員の半数以上が県外出身者ですが、出身や男女問わず、楽しく活動しています。そんな私たちは毎年、お盆(8月12日～15日)に行われる阿波踊り初日に、ハーネス連の皆さんと一緒に踊らせていただいています。視覚障がいのある方とそれを支える盲導犬やボランティアの方々とともに演舞場を踊るため、本番前には合同で練習を行い、交流を深める良い機会となっています。「踊りはハーネス」といった掛け声を入れるなど、今年も大変楽しく盛り上がりました。今回、このような感謝状をいただけたことを、とても光栄に思います。今後とも阿波踊りを楽しみ、盛り上げていくために、ハーネス連さんとの交流を深め、練習に励んでいきたいと思っています。



ハーネス連の皆さんと、徳島文理大学連関係者の皆さん

理工学部

## ひらめき☆ときめきサイエンス 推進賞受賞 ナノ物質工学科 松田和典 教授

この度、理工学部ナノ物質工学科の松田和典教授が独立行政法人日本学術振興会より「ひらめき☆ときめきサイエンス推進賞」を受賞しました。



桐野学長より表彰状と盾を授けられる松田教授

日本学術振興会理事長より表彰状と盾が贈呈され、桐野豊学長より手渡されました。

ひらめき☆ときめきサイエンスは、同会が科研費の成果を普及・還元する事業「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～

KAKENHI(研究成果の社会還元・普及事業)」で、研究機関が行っている最先端の科研費の研究成果を小学校5・6年生・中学生・高校生の皆さんが、直に見る、聞く、ふれることで、科学のおもしろさを感じてもらおうプログラムです。

松田教授は科研費採択により研究成果をあげた後、「マイクロセンサーが開く世界～ゲーム機から宇宙開発まで～」をテーマとした本プログラムを2009(平成21)年度から継続的に実施し、将来を担う子どもたちの科学をたのしむ心を育み、知的好奇心の向上に大きく貢献したことが認められ今回の受賞に至りました。

本プログラムには、地元のみさき市や香川県をはじめ、徳島県、愛媛県、大阪府や、広島県などの遠方からも参加があり、理工学部の教員や学生とともにサイエンスを楽しみました。

徳島キャンパス

香川キャンパス

## 100円朝食がはじまりました

「朝の定食がたったの100円」。信じられない話が徳島文理大学で実現した。これはテレビ局の番組紹介記事です。2009(平成21)年に内閣府が行った大学生の食に関する調査では、「健康ではない」「あまり健康ではない」と答えた学生ほど、朝食の欠食頻度が高い傾向となっています。

本学では52%の学生が親元を離れ、下宿生活を送っています。約400人を対象としたアンケートでは約71%の学生が朝食をとっていると答えたものの、ソフトドリンク、おにぎり、菓子パン等で済ませているケースが多く見られました。

そこで、一人暮らしや遠距離通学で朝食を抜きがちな学生に、栄養バランスの良い朝食を提供し、規則的な生活リズムを確立し、勉学へ



100円朝食を利用する学生

の意欲を高めてもらおうと保護者会の協力のもと「100円朝食」が2014(平成26)年9月よりスタートしました。

学生の皆さん、いつもより少し早起きをして、ぜひ100円朝食を利用してください。

同窓会

## アカンサス会 台湾旅行を実施

アカンサス会香川県支部 副支部長 石川 慎也

2014(平成26)年9月、アカンサス会香川県支部では、学園創立120周年記念行事の一環として、台湾旅行を計画・実施しました。

参加学生には2万円の旅費をアカンサス会から補助し、OB・OGと在学生在と一緒に旅行することにより、建学の精神である「自立協同」をめざしました。

台湾では、本学の姉妹校である開南大学を訪れるなど有意義な時間を過ごすことができました。今回の参加者は、OB・OGおよび大学教職員5人、学生2人と少数でしたが、今後ともこのような在在学生を支援する行事を積極的に行っていきたいと考えています。



### 【参加した学生の感想】

私は、夏休みに韓国の檀國大学に短期留学をしました。そして、このたび徳島文理大学のOB・OGの方と台湾旅行に参加し、同じアジアでも多くの文化の違いを知りました。また、台湾の人は、日本人と似た考え方を持っているところがあると感じました。今年もこのような企画があれば、ぜひ参加したいです。

短期大学部商科1年 石川千歳

今回の台湾旅行に参加し、開南大学や観光地を訪れ台湾の文化に触れることができました。短い期間でしたが、異文化に触れることで自分自身の世界観が広がったように感じます。このような機会を作ってくださったアカンサス会の皆さまありがとうございました。

保健福祉学部臨床工学科2年 遠藤未耶

地域貢献

地域活性化と健康増進をめざした健康セミナーの開催

薬学部では地域貢献活動の一環として、大学祭にあわせて「いきいき健康セミナー」を開催しました。最近では、国民自らが健康管理を実践できるように支援することも医療従事者の重要な仕事のひとつとして考えられています。

4回目となる今年のセミナーでは、保健福祉学部看護学科や理学療法学科、地域のドラッグストア等のご協力を得て、糖尿病コントロールの指標となるヘモグロビンA1cや運動機能などの測定コーナーをはじめ、大塚製薬ニュートラシューティカルズ事業部による試食・試飲コーナー、徳島県薬草協会との共催となる徳島県下各地の薬草展示コーナーを薬学部24号館1階ラウンジに設けました。

200人をこえる地域の方々にお越しいただき、盛大に開催することができました。



薬学科と看護学科の学生によるヘモグロビンA1c測定コーナー



理学療法学科の学生による運動機能測定コーナー

総合政策学部

徳島県議と学生との意見交換会開催

本学と徳島県議会との包括連携協定に基づく事業の一環として2014(平成26)年12月6日(土)13時より「新町まちかど教室」において徳島県議の笠井国利氏、井川龍二氏を招き、「徳島県のこれから～都道府県ランキングを踏まえて～」というテーマで、学生15人と意見交換会を開催しました。

中村昌宏総合政策学部長が進行役を務め、出席者紹介の後、両県議からは政治家を志した動機、活動報告と県政への熱い想いを語っていただきました。その後「少子高齢化、過疎化と人口問題」「地域産業の振興策」「観光活性化の方策」「本県の強みと弱み」等について活発な意見が交わされました。特に学生からは魅力ある雇用の場づくり、スポーツ関連のインフラ整備、情報発信力の強化、若者のニーズに合致した品揃えの店舗の不足等に関する意見が目立ちました。両県議からは、学生たちの真面目で積極的な姿勢を高く評価していただきました。「今度はぜひ授業に講師として招いてほしい」と両県議から要望があり、盛会の内に閉会となりました。



新町まちかど教室での意見交換会

文学部

文化財学科・丸亀市立資料館共催企画「讃岐の前期古墳展」

2014(平成26)年秋に、文化財学科と丸亀市立資料館は共同で大掛かりな企画展を開催しました。題して「讃岐の前期古墳展」。香川県および県下市町の機関が所蔵する主要な前期古墳出土品を一堂に集めた企画展です。近年の旺盛な研究活動と地道な調査の積み重ねによって、今や四国地域の関係資料は古墳時代の研究に必要不可欠であると言われています。その中でもとくに香川県域(旧讃岐地域)の関係資料・遺跡は多くの注目を集めています。もちろん関係者・関係機関による長年の真摯な調査・研究の成果ですが、本学もそこに寄与してきたことは間違いありません。

この企画展では総数1000点を越える膨大な前期古墳副葬品を集め、あらためてそれらを精査・評価し、結果としてこれまでの前期古墳研究の成果を総括的に展示するものとなりました。こうした規模と内容の展示は香川県下では初めてのものです、四国全体を見渡してもほとんど事例はありません。企画を含め展示準備におよそ1年半を要しました。丸亀市立資料館スタッフの方と手分けして県下の諸機関の保管資料を一つひとつ精査し、また展示用に補修を施すなど実に細かい作業の積み重ねを行いました。

こうした大規模な企画展を大学が単独で開催することは実際困難ですが、その一方、展示の前提である資料調査と評価の質を担保する局面では大学の専門的「力」が寄与できる部分が非常に大きいと思います。

双方の長所をうまく総合した形で進めた今回の企画展共催事業は、社会的に要請される地域連携の一つの望ましい姿を示すことができたと思います。

なお開催中の参観者数は例年の2倍以上となり、大成功といえるものになりました。



讃岐の前期古墳展の様子

人間生活学部

メディアデザイン学科 高大連携による徳島ヴォルティスのプロデュース試合を実施



メディアデザイン学科の学生によるタンブラー工作ブース

メディアデザイン学科の学生が運営するNPO法人Awatter Lab.が、徳島ヴォルティスホームゲームイベント(2014(平成26)年10月26日(日)名古屋グランパス戦)を県内大学・高校と共同でプロデュースしました。本事業は2009(平成21)年より行っており、今年度からは「徳島文理大学と徳島ヴォルティスにおけるスポーツ振興及び地域貢献に関する連携協定」による活動の一環として企画・運営に携わっています。

今回は本学の目玉企画として、サポーターから事前に募集した写真による「ヴォルティス応援モザイクアート」を実施しました。全国から集まった1000枚を超える写真を配置したヴォルティスエンブレムを作成し、会場で展示したほか、ハーフタイムにはスタジアム内の大型スクリーンで学生が制作したプロモーションビデオを放映し、好評を得ました。

徳島文理大学ブースでは他にも多彩なイベントを実施し、J1昇格による県内外の多くの来客に本学を発信することができたことは大きな成果であり、実りの多い貴重なプロジェクトになりました。

語学交流

第3回 語学センターフェスティバル 英語暗誦コンテスト

2014(平成26)年11月15日(土)、香川キャンパスの村崎サイモリアルホールにて「第3回 語学センターフェスティバル 英語暗誦コンテスト」が開催されました。このコンテストでは美し



英語暗誦コンテスト参加者と審査員で記念撮影

防災対策

学生・職員ら36人が地震・津波について学び防災力を養う

徳島キャンパスでは、「災害に負けない『生きる力』を養う防災教育の展開」と題し、3年前から東日本大震災を教訓に南海トラフ巨大地震に備えるための防災教育に注力しています。

2014(平成26)年12月6日(土)には、「県南を訪ね『昭和南海地震』に学ぶ」防災研修を企画し、学生32人、職員4人が参加しました。本研修は、徳島県の大学等地域連携強化事業(とくしまCOC連携強化事業)に採択されたもので、当日は県職員の案内のもと、まず徳島県南部圏域総合防災訓練に参加し、緊急地震速報対応訓練およびボランティア受け入れ対応訓練を行いました。また、自衛隊によるヘリコプターからの降下訓練やレスキュー隊による救出訓練の見学、起震車による南海地震体験や煙体験など、普段ではすることができないことを経験しました。続いて美波町の津波避難施設(避難階段・避難広場・避難タワー)の視察と由岐町の津波碑「康暦碑」の見学を行いました。

学生からは、「坂や階段を上るのは大変だったが、訓練を体験したり見学したりとても役に立った」「防災により関心もてた」などの感想がありました。今後もこのような研修を実施し、学生・教職員の防災力の向上に努めていきます。



徳島県南部圏域総合防災訓練に参加し、がれき撤去ボランティアを体験

い英文を理解し、暗記し、自分らしく表現するという、英語学習に必要な要素すべてが要求されます。厳正な予選審査を勝ち進んだ出場者(高校生の部では7人、大学生の部では12人)が、当日は素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。審査のための休憩時間には、英語英米文化学科の学生による「クイズ大会」も行われ、会場は盛り上がりました。なお、入賞者は以下のとおりです。

【大学生部門】(敬称略)

- 最優秀賞……………福井ひかる(人間生活学部心理学科1年)
- 優秀賞……………劉 康(香川薬学部薬学科1年)
- 語学センター長賞…金 ハン(薬学部薬学科1年)
- 河瀬絵梨佳(文学部英語英米文化学科1年)

【高校生部門】(敬称略)

- 最優秀賞……………好井 七海(香川県立坂出高校2年)
- 優秀賞……………岩本 愛佳(徳島県立阿波高校2年)
- 語学センター長賞…樫本 恭介(香川県立高松桜井高校2年)

**短期  
大学部** **保育科**  
**第31回 おとぎのくに 開催**

2014(平成26)年11月19日(水)と20日(木)の2日間、保育科の「第31回 おとぎのくに」が、むらさきホールで開催されました。ご招待した約930人の子どもたちと引率の保育者の方々、そして学内の教職員、児童学科の学生など大勢の方にご観覧いただき、2日間とも大盛況でした。プログラムは、ハンドベル・ブラックシアター・ミュージカル・合唱・ダンス等です。1時間半という長い上演時間にもかかわらず会場の子供たちはステージに集中し、笑い声や歓声をあげて一緒に体を動かしたり歌を口ずさんだり、時には静かに耳を澄まして聴いている様子が見られました。子どもたちの素直な反応と会場の皆さまの温かい声援に、学生たちは大きな喜びと達成感を得たようです。

引率の保育者の中には本学の卒業生も多く、学生時代を懐かしむとともに後輩たちの活躍を喜ぶ声が寄せられました。「おとぎのくに」は世代を超えて、保育科を結ぶ役割を果たしています。これからもこの伝統を大切にしながら、来年もより質の高い作品を上演できるよう学生と教員一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。



保育科の学生たちによるミュージカル

**音楽学部  
音楽科** **徳島文理大学**  
**第57回 定期演奏会を開催**



村崎サイメモリアルホール(香川キャンパス)での演奏

晩秋の季節感を濃く漂わせる2014(平成26)年11月29日(土)に香川キャンパスで、30日(日)に徳島キャンパスで「徳島文理大学 第57回 定期演奏会」を開催しました。

最初に、高田三郎作曲 混声合唱組曲「水のいのち」を熊谷公博教授の流麗な指揮とジュゼッペ・マリオッティ音楽学部長の洗練されたピアノで奏でられた美しいハーモニーが広い会場を魅了しました。次に、林俊昭教授の円熟したチェロ独奏と指揮でポッケリーニ作曲「チェロ協奏曲」を披露しました。最後に、林俊昭教授の華麗な指揮でメンデルスゾーン作曲「交響曲第3番スコットランド」を重厚な演奏で披露し、多くの聴衆に大きな感銘を残しました。

定期演奏会は今年で57回目を数え、長い歴史を有する音楽学部・短期大学部音楽科の最大の行事であり、学生や教職員の日ごろの修練の成果を披露する機会でもあります。出演した学生の「研鑽を重ね、輝かしい伝統を受け継いでいきたい」という言葉が印象的でした。

**総合政策  
学部** **青年会議所 徳島ブロック協議会主催**  
**模擬議会への参加**

総合政策学部では、青年会議所徳島ブロック協議会主催の模擬議会に参加し、政策提言を行いました。2014(平成26)年10月1日(水)に第1回の打ち合わせ会を開き、福山将太委員長のもと大西宏昌、犬伏千裕、森田美咲、李・昕芸の5人のメンバーで政策提言をすることになりました。

その後、数回のミーティングと約70人の総合政策学部生を対象としたアンケート実施により、県外からの学生のほぼ全員が徳島県以外での就職を希望している結果を重視し、サテライトオフィス見学ツアーの実施による地域の魅力認識等の若者の県内定着策を提言し、2014(平成26)年11月1日(土)の徳島大学日亜ホールにおける模擬議会では、青年会議所OBの県議・市町村議9人と各青年会議所理事長等からの鋭い質問に堂々と答えることができ、予算要求のめどがつかまりました。

徳島大学の代表からは移住者誘致による定住人口増加策の提言もあり、学生たちは貴重な体験をすることができました。



模擬議会で政策提言をする総合政策学部の福山将太さん(写真中央)

**短期  
大学部** **言語コミュニケーション学科**  
**空港研修**



徳島阿波おどり空港で飛行機を見送る学生たち

短期大学部言語コミュニケーション学科では、1年生の夏休みに空港研修を実施しています。今回は、2014(平成26)年8月28日(木)に伊丹(大阪国際)空港、9月4日(木)に徳島阿波おどり空港、9月5日(金)に徳島空港管制施設(海上自衛隊)で行いました。

CA(客室乗務員)、GS(地上職員)、パイロット、貨物、航務、整備、管制の業務を、それぞれの現場で、現場の方から直接学びます。さまざまな職種・職場・業務、そして多くの人と「出会う」ことができます。

写真は、徳島阿波おどり空港でJALの方とともに羽田便のお見送りをしている様子です。一人のお客さまもおろそかにせず、時間通りに、そして、安全に運航する。そのために、多くの人たちが自分の「責任」を果たしています。このことを学んだからこそ、心をこめてお見送りできました。

卒業後、自分はどういう責任を果たすのか? そのために今、何をすべきか? 「職業意識の確立」が、この研修の最大の目的です。

**イベント** **キャンパスを癒しの光で包む**  
**第9回 イルミネーション点灯式 開催**

冬の風物詩として定着した恒例のイルミネーション点灯式が、徳島キャンパスでは2014(平成26)年12月1日(月)、香川キャンパスでは12月5日(金)に開催されました。昨年に引き続き120周年ロゴの入ったタペストリーもキャンパスを彩っています。今年は青色LEDを開発した日本人科学者がノーベル物理学賞を受賞したニュースもあり、注目をあつめました。

徳島キャンパスの点灯式では村崎理事長、桐野学長、そして女子サッカーチームキャプテンの宮里恵生さんが点灯スイッチを押し、35万球のLEDが一斉に点灯しました。来場者は幻想的な光に包まれながら、音楽学部の学生による演奏やハンドベルの音色に酔いしれていました。香川キャンパスでは、志度中学校吹奏楽部によるクリスマスコンサートが行われ、その後7万5千球のLEDの光とともに、在学生によるゴスペルやハンドベル演奏が行われました。

両キャンパスともに毎日17時~21時まで点灯しており、2015(平成27)年2月14日(土)までご覧いただくことができます。光り輝くキャンパスにぜひお越しください。



香川キャンパス イルミネーション点灯式の様子

**人間生活  
学部** **児童学科と徳島文理大学附属幼稚園の**  
**取り組み**

児童学科と徳島文理大学附属幼稚園はさまざまな行事を通じて交流を行っています。ハロウィン、お芋掘り、お餅つきやクリスマス会など、学生は附属幼稚園の子どもたちが喜んでくれるようさまざまな趣向をこらしています。それらの体験は、保育士や幼稚園の先生になった時、とても役に立っています。

その中でも恒例となった「津波避難訓練」は、万一の時に子どもたちの命を守るための大切な行事になっています。学生たちは、授業の中で事前に避難経路の状態を確認したり、より安全な誘導の仕方を話し合ったり、その姿は真剣そのものです。

実際の訓練では、危険回避に留意しながら子どもたちを誘導しました。学生と園児が一丸となって取り組み、昨年よりさらに避難時間が短縮できました。いざという時、近くに心強いお兄さんやお姉さんがいると知っているだけで、子どもたちは落ち着いて素早く避難できるのです。これこそが、附属幼稚園の強みだと思います。



ハロウィンイベントで園児と交流する児童学科の学生たち



津波避難訓練で園児を誘導している児童学科の学生たち

人間生活  
学部

## 建築デザイン学科の学生による「高開の石積み」の調査

本事業は、大学等が自治体を中心に地域社会と連携し、地域を意識した教育・研究・社会貢献を進める活動の一環として実施されました。吉野川市美郷の高開文雄さんから「石積みの平面面積等のデータはあるが、法面データとおおよその石の数が不明なので調査してほしい」との要望があり、建築デザイン学科で学ぶ内容とも深く関連があることから、今回徳島県立総合大学校と連携し、調査を実施することになりました。調査には、3年生8人、4年生2人、教員3人が参加し、2014(平成26)年11月に2回、12月に1回の計3回調査を実施しました。



石積みの様子

調査の内容は、「高開石積み」24面の擁壁面の面積算出と石積み個数の算出、石積みの部分修復作業、調査番号を記す(立用の杭)等を実施しました。



調査に参加した建築デザイン学科の学生と教員

理工  
学部

## 基本情報技術者試験 資格取得を通じた学生の成長

週に1度の放課後。窓の外が薄暗くなり始めてきたころ、狭いゼミ室に学生が次々と集まってきました。今期は21人。ここでは、IT技術に関する国家試験・基本情報技術者試験(プログラマー向けの能力認定試験として、情報産業界では古くから重要視されている試験)のための講座です。講座といっても普通の講義形式ではなく、事前に配布された課題の質疑応答や難問の解説をするといった形で行われています。学科としては、合格が卒業要件ではないですが、この資格取得を薦めています。

この講座は希望制で、2年生以上であれば受講してもよく、強制ではありません。なのに講義は欠席することもある学生が、なぜか毎回欠かさずやってきます。講義の課題提出は時々遅れるのに、講座で与えた課題はパーフェクト。休憩時間の会話は遊びやゲームの話題ばかりしていたのに、いつのまにか資格試験の内容のことを議論したり、課題の問題を解き合ったりと切磋琢磨しているのです。

基本情報技術者試験の全国の合格率は24~25%であり、決して簡単ではありません(講座受講生の合格率は全国平均を上回る)。在学中に合格して上の資格をめざした人、途中で挫折した人、挫折したけどまた挑戦した人、卒業後数年経って合格したとメールで知らせてくれた人。8年間さまざまでしたが、目的に向かって努力を重ね成長していく姿には目を見張るものがあります。

理工  
学部

## 「ノンアルコールワイン」について商品化 さぬきワイナリーから発売!!

理工学部体験教育支援センター(2006(平成18)年設立)の活動としてナノ物質工学科の学生たちが中心となって開発した「ノンアルコールワイン」が、さぬきワイナリーから発売されることになりました。3年前に、さぬきワイナリーを活性化するためのプロジェクトとして協力を要請されましたが、若い世代がワインを飲まないこと、日本にはワインの食文化がないことに問題意識を持って参加しました。それから3年間「お酒が飲めない人が仕方なく飲むものではなく、ワインを飲んだことがない人がジュースよりおいしいと感じるものを作る」という思いで開発に挑戦しました。しかし最終的にはワインらしさも強く求められました。試行錯誤の結果、ワインらしさとジュースの良さを合わせ持つ全く新しいノンアルコールワインが完成しました。桑の葉やオリーブの葉を使ったことで健康にも良いという思わぬ結果となりました。学生の苦勞が成果となって世に出ることを大変嬉しく思います。



ノンアルコールワイン開発に参加した学生と教員



## インターンシップ体験記

徳島

徳島学院での  
インターンシップに参加して



人間生活学部心理学科3年  
笹岡 初

私がインターンシップに参加した徳島学院は児童自立支援施設であり、学校や家庭で適応が困難な18歳未満の子どもたちを受け入れ、心身の成長を支援している場所です。インターンシップ中は、ほとんどの時間を子どもたちと一緒に施設で過ごしましたが、常にドキドキしながら子どもたちと関わっていたのですが、ある日の帰り子どもたちが「帰ってしまうのは寂しい」と言ってくれ、それがとても嬉しかったことを覚えています。

また、施設で心理カウンセラーとして働いている方や施設の先生方からお話を聞く機会もあり、子どもたちとの関わり方、子どもたちの小さな変化を見逃さないこと、施設で過ごしている子どもたちだけではなく子どもたちの保護者へもサポートが必要なことや実際に徳島学院で行っているサポートなどについて教えていただきました。

今回、実際に働いている方の生の声を聞くことができたおかげで、仕事の大変さややりがいを知ることができ、インターンシップを通して自分にはどんな仕事に向いているのかを知ることができたと思います。

徳島

インターンシップに  
参加して



総合政策学部総合政策学科3年  
福山 将太

徳島県議会におけるインターンシップでは、県議会議員の先生方、議会議務局長をはじめ職員の方々のご指導のもと、議会運営や業務の流れを学ぶことができました。中でも「きちんと理論武装をして発言に責任を持つ」という言葉は、深く私の胸の中に刻まれております。

また、徳島銀行のインターンシップにも参加させていただきました。講座内の「人間力=業務知識力・教養力・コミュニケーション能力・行動力、これらをバランスよく高めてから、個性を発揮する」を実践することも社会人として生きていく上での一歩としてとらえ、学内外のさまざまな行事(例えば他大学との連携による模擬議会)などを通じて実際に会得していくことで、「参加して、そこで終わり」のインターンシップとにならないように努力してまいります。

香川

四国電力でのインターン  
シップに参加して



理工学部電子情報工学科3年  
弘瀬 勇人

私は、夏休みを使って、四国電力でインターンシップを体験させていただきました。四国電力のインターンシップに応募するにあたって火力コースのほか5コースがあり、自分の専攻している分野である情報通信コースに応募しました。私の中では、四国電力と聞くと電気を発電しているイメージが強く、情報通信という印象はなかったのですが、実際に参加し、会社の概要などを説明していただく内にそれが明確になってきました。そして、情報通信も電気を発電するために大切な分野だと分かりました。インターンシップはその企業をよく知るのに良い機会だと感じました。

四国電力担当者の方は、「インターンシップとは学生と社会人の間に位置するものだ」とお話されていました。インターンシップ期間は、10日間泊まり込みで参加し、当然ビジネスマナーなども意識しないといけません。私も、やはり学生生活とは違うと感じました。また、全国から参加している大学生とともにインターンシップを体験し、自分の足りない部分も見直せたと思います。この経験を就職活動にもいかしていきたいです。

香川

インターンシップに  
参加して



文学部日本文学科3年  
徳井 祐佳

私は、株式会社アビリティセンターで行われたインターンシップに参加し、営業職とはどういうものかについて学びました。営業という職業に対して私は自分からどんどん話をしていくというイメージを持っていました。しかし、インターンシップを通して営業職にとって大切なことは、いかに相手の話を聞くかということを知りました。インターンシップの内容としては、他己紹介、1000円ゲーム、営業疑似体験がありました。私が特に印象に残ったのは営業疑似体験です。営業疑似体験では、話を聞くことの大切さを学んだにもかかわらず、必死になればなるほど自分ばかりが話をしまい、営業職の難しさを実感しました。

このインターンシップでの経験を通して営業職に対するイメージが大きく変化しました。今回の経験をこれからの就職活動にいかしていきたいです。

## 先輩からの手紙 —就職内定者—



### 就職内定 自分らしさを伝える

保健福祉学部理学療法学科 4年  
大泉 湧  
公益財団法人 田附興風会  
医学研究所 北野病院 内定

私は指定校推薦入試を利用し、理学療法学科に入学しました。入学当初は、なかなか授業や周りの環境についていくことができませんでした。しかし、友人や先生方の支えと中学時代・高校時代に身につけた負けず嫌いをいかし、なんとか毎日の授業や難しい定期試験も乗り切ることができました。就職試験では筆記試験や面接があり、やはり基礎的な知識は必要だと感じました。しかし、私が就職試験で一番大切だと思うことは、自分はどうのような人間でどのような考え方を生活してきたかを嘘偽りなく伝えることだと思います。

後輩の皆さんも、なにか1つでも自分らしさを表現できるものを持ってください。自分らしさを分かりやすく伝えられる人の方が好感度は高いと思います。ただ決して自分勝手にならず、今まで自分がどれだけの人に支えられ、助けられてきたかについては忘れないようにしてください。



### 就職内定 いつも笑顔でいること

短期大学部  
言語コミュニケーション学科 2年  
上田 里奈  
徳島銀行 内定

私は就職活動をする中で「いつも笑顔でいること」を大切にしていました。笑顔でいることによって緊張を和らげ、また好印象を与えることもできるからです。

面接練習では、自分が言いたいことを上手にまとめることができず、伝えたいことを出し切れなかったこともあり。しかし、練習を重ねるうちに落ち着いて挑戦することができ、また面接官の前でもリラックスして話ができるようになりました。

1人だけで考えこまず、友人や先生方にたくさん頼ることも大切なことだと思います。また、就職活動では、何が起きるか分かりませんが、決してあきらめず最後までがんばってください。



### 就職内定 会社とのきっかけ

理工学部機械創造工学科 4年  
磯野 圭介  
西松建設株式会社 内定

私が内定をいただいた西松建設を受けたきっかけは、東日本大震災でした。あの時から、国土や公共事業に関する本を読み、建設業によるインフラ整備の重要性を理解し、建設業に従事してみたいと思うようになりました。そして、ゼミの先生から徳島文理大学の建物が西松建設によって建築されていることを教えていただき、そのことにとっても縁を感じました。

SPI試験や面接試験に関しては、早期からの勉強や練習が功を奏し、SPI試験では直前に緊張せず、面接試験でも普段通り本番に臨むことができました。

就職について考える時、自分の人生の中で何か企業と関係するきっかけがあると思います。その中から自分の就職先について考えはじめると良いと思います。



### 就職内定 就職活動を振り返り

文学部英語英米文化学科 4年  
多田 亜彩  
東京アカデミー高松校 内定

2013(平成25)年12月に開催された学内合同企業説明会をスタートに私の就職活動が始まりました。しかし活動を進めていく中で「自分の強みが分からない」「何をしたいのかが分からない」それが私の悩みでした。周囲と自分を比較することばかりに陥り、自分を見失いかけた時期もありましたが、働くのは自分です。今思えば私がチャンスをつかめたのは、自分のペースで歩めた時でした。

就職活動は社会生活の第一歩を踏み出すために、自分にとって価値のある場所を探すための活動だと思います。そのためには今の自分をよく知り、何のために働き、どういう働きをしている自分に納得し、充実感を覚えるのかをよく考えることが一番大切です。皆さんも自分自身をよく知り、自分が一番輝ける場所を見つけてください。

## 先輩からの手紙 —教員採用試験合格者—



### 教員採用 感謝と努力

人間生活学専攻科児童学専攻 1年  
濱口 直子  
大阪府小学校教諭 合格

私は、「将来子どもと関わる仕事に就きたい」という思いで、児童学科に入学しました。大学4年間は、ボランティアにも参加し、さまざまな経験を糧としていきました。卒業後は人間生活学専攻科で児童学を専攻し、より自分を成長させ、教員採用試験合格を目標にしました。

筆記試験の対策には、アカンサス講座や教員養成対策講座を受講したり、自分で過去問を何度も解いたりしました。面接対策はたくさん先生方にお世話になり、悩んでいる時には、励ましの言葉をかけていただきました。そのおかげで、自信を持って教員採用試験に挑むことができました。

私が合格することができたのは、応援してくれる家族や先生方、友人がいたからです。くじけそうな時には、みんなの顔を思い出し、がんばることができました。後輩の皆さんも、どんな自分になりたいかをしっかり考え、多くの応援してくれる方々に感謝して、目標に向かって努力をしていってください。



### 教員採用 人との関わりを大切に

人間生活学部児童学科 4年  
近藤 誠将  
神奈川県小学校教諭 合格

私は、「絶対に教師になる」という思いを、4年間常に持ち続けていました。本格的に教員採用試験に向けて努力を始めたのは3年生の終わりごろと、非常に遅かったのですが、1年生のころから、「一期一会」を大切に、さまざまなボランティア活動に参加してきました。その豊富な経験が知識や自信につながり、面接ではそのことが特に強みとなりました。教員採用試験に合格するまでには、同じ夢に向かって努力する仲間たちや支えてくれる先生方の存在がとても大きかったです。

「絶対に夢をかなえる」その想いを強く持って、悔いのないように努力をすれば、必ず結果として現れると思います。



### 教員採用 一度きりの“今”を大切に

人間生活学部児童学科 4年  
大住 太郎  
兵庫県小学校教諭 合格

私は大学生生活の4年間を通して、興味をもったことに全力で取り組んできました。2年生から4年生までフルマラソンにチャレンジし、心身共に成長することができました。2012(平成24)年にはロンドンオリンピックを現地で観戦し、スポーツによって世界が一つになる感動を体験しました。東日本大震災の被災地支援ボランティアに参加した際は復興に向かって助け合う人々の絆を知ることができました。3年生の教育実習より本格的に勉強に取り組み、大学の先生方のアドバイスや友人の協力を得て、教員採用試験に向けて準備を進めることができました。何よりも力になったのは実習先の子どもたちからの「絶対先生になってね」というメッセージでした。

これから教員をめざす皆さんも人生一度きりの“今”を大切に、いろいろな経験をして魅力的な先生になってください。



### 教員採用 絶対に叶えたい夢を持つこと

人間生活学部心理学科 4年  
明神 由記  
高知県養護教諭 合格

私は幼いころからずっと教師になるのが夢でした。心身の健康に問題を抱える子どもが増えてきている現代社会で、養護教諭という仕事に注目し、「子どもの心に深く寄り添うことができる」そんな教師になりたいと思い、心理学科を選びました。

毎日コツコツと勉強を続けるのは簡単なことではなく、投げ出しなくなる時もあると思います。でもそんなときに「絶対に夢を叶えたい」という強い気持ちがあれば、がんばることが楽しいと思えてくるはず。徳島文理大学ではたくさん先生方が優しくサポートしてくれます。周りには同じ夢を持つ仲間がいます。私は自分を支えてくださった方々のおかげで合格することができました。努力は決して人を裏切りません。たくさんの人に感謝する気持ちを忘れずに、夢に向かってがんばってください。



## 大学院 看護学研究科看護学専攻

【連載】研究室への誘い

- 大学院看護学研究科 教授 高橋 照子
- 看護学研究科看護学専攻 1年 西村 美穂
- 看護学研究科看護学専攻 1年 南 幸子

### ●高橋教授にお聞きします。看護学研究科の学びのポイントを教えてください。

看護学研究科は、2014（平成26）年度に開設して第1期生7人を迎えたばかりの新しい大学院修士課程です。

これまで長い間、看護師を養成する教育は3年制の専門学校で、保健師・助産師の養成はさらに1年間の教育で行われてきましたが、1990（平成2）年以降の急激な高等教育化に伴って、看護師・保健師・助産師の教育が大学で行われるようになり、2014（平成26）年度4月時点では、全国の看護系大学が214校、大学院が152校になっています。本研究科は、徳島県内で3番目の看護系大学院ということになります。

看護学の修士課程では、主に看護実践の専門性を高めることが目的とされています。そのため、看護学の教育を受けた後に、数年以上の実践経験をもつ人々を対象にした教育をめざしています。大学院生自らが、これまで実践の中で得てきたことを、授業・研究を通して科学的・

学術的に深めていくことが、修士課程での学びのポイントといえるでしょう。

1つぜひ知っておいていただきたいのは、看護学研究科には、専門学校の卒業生にも受験資格が認められているということです。専門学校の教育が大学教育と同等とみなされているということであり、実践経験を経た社会人に大学院で学ぶ門戸が大きく開かれているということです。

### ●看護学研究科にはどんな研究室（各研究室の研究テーマなど）がありますか？

看護学研究科には、すべての看護実践の基盤を研究する基盤看護学分野に、理論看護学、看護教育学、看護管理学の3領域が、またそれぞれの実践を具体的に研究する実践看護学分野には、療養支援看護学、地域・在宅看護学、母性看護学の3領域があり、各研究室で研究に取り組んでいます。

加えて本学では、大学院博士後期課程の開設を準備しており、1期生の修士課程

修了時の2016（平成28）年4月には博士課程のスタートをめざしています。博士課程では、さらに深い研究のできる研究者や教育者の養成をめざすこととなります。

### ●学生たちの雰囲気はいかがですか？なかでも、このコーナーで取材する学生さんは、どのように取り組まれていますか？

本研究科の最も大きな特徴は、大学院生たちが明るく楽しく学んでいるということだと思います。院生たちの平均年齢が47歳と高く、学生時代から数十年を経過している人もいます。入学の門戸は大きく開かれています。もちろん教育水準は決して低めではありません。修士課程修了者としての実力をつけるべく、院生たちは多くの課題をこなさなければなりません。さらに、院生全員が社会人なので、仕事をしながら必死に勉強しています。同期生としてお互いに支えあい励ましあっていく体制ができているようです。

### ●続いて西村さん、南さんにお聞きします。現在所属している高橋研究室を選んだきっかけ、理由を教えてください。

西村：毎日、医療現場で仕事をしていく中で、なんとなく「このままでいいのかな…」という思いがありました。以前から、大学院に進学してみたいという気持ちは持っていましたが、仕事・子育て・家事等々、日々の生活をこなしていくのが精いっぱい、いつの間にか「大学院で勉強したい気持ち」と「このままでいいのかな…」という気持ちに蓋をして生活していたように思います。そんな気持ちを持ち続け5～6年が過ぎたころ、徳島文理大学で教員をしておられる先生と知り合いになり、大学院が開設されることを知りました。早速、ホームページを検索すると、「『理論なき実践は盲目であり、実践なき理論は空虚である』（クルト・レヴィン）『実践を伴わない理論は、看護師に破滅をもたらす』（ナイチンゲール）の名言がありますが、ケア提供の質の向上には、ケア提供・管理・教育から導かれた理論こそが看護師を支えるということだ」という高橋先生の言葉を拝見し、ハッとするほどの衝撃を受け、私の求めている看護はここにあると思いました。それから、家族に大学院に進学して勉強したい思いを切々と語りました。主人は、「これからの看護を勉強して、ぜひ僕にも学んだことを教えてください」と言ってくれました。また、子どもたちも「いつも勉強しなさいって、ママは言うばかりだから、ママが勉強することには大賛成」と私の考えに賛同してくれました。そして何よりも「仕事をしながら、社会人学生になりたいのですが…」と相談した上司や職場の仲間も私の大学院進学を喜んでくれ、「大いに学んでほしい」と背中を押し、送り出してくれる環境を整えてくれました。私は、周囲の皆さんに支えられ、念願であった大学院に進学できるチャンスをいただくことができました。せっかくだから、協力してくださった皆さんに恩返しするためにも、理論看護学分野で第一人者的存在である高橋先生のもとで研究したいと思い、高橋先生の研究室でお世話になっています。

南：若いころ、保健師になりたかったのですが、夢はかなわず57歳を迎えること

となりました。そんな折、大学院に看護学研究科ができることを知人から教えてもらい、最後のチャンスと思いチャレンジしました。今では保健師になれなかった過去を、ありがたく感じられるようになりました。また、25年前に家の都合で（12年間の臨床経験で）退職して、ずっと看護の世界から離れていたため、現在の看護界がどのように変わっているかを知りたくなり、この研究室を選びました。

### ●現在の研究内容を教えてください。

西村：「看護における2型糖尿病介入研究の動向」というテーマのもと、文献検索を中心に介入研究について探究しています。

南：看護研究に向けてのテーマ決定や、看護理論、理論演習での論文クリティークで、批判的思考を修得することを目的に文献講読をしています。専門知識を

もった多職種の人々と医療現場での問題解決をしていけるようにチーム医療を学び、他職種の役割や業務の相互理解をしています。

### ●これからの目標、将来の夢を教えてください。

西村：徳島県は、悲しいことに糖尿病死亡率全国ワースト1位を連続して更新中です。私の研究が少しでも徳島県の糖尿病改善に向け、地域に貢献できるように、日々看護学研究を積み重ねていきたいと考えています。

南：看護学研究科の修士課程を修了することがまずは第一目標で、そのために修士論文を書きあげようとしています。将来的には英語の論文が読めるようになること、そして80歳のころには、英語の新聞が読めるようになることを目標にしています。

## 看護学科の取り組みについて

### ◇がん検診率向上プロジェクト

看護学科では、希望者が中心となり、がん検診を呼びかけるプロジェクトを実施しています。このプロジェクトはNPO法人AWAがん対策募金の協力を得て実施されているもので、当日のブース運営や準備、来場者の呼び込みなど、学生が主体となってイベントを計画し実施しています。昨年イベント内容は、学生に親に向けたメッセージカードを作成してもらうというものでした。ガンの発生率が高まってくる40～50代は大学生の親世代となるため、山城祭に参加している学生たちが自分たちの親へ向け、がん検診を受けてほしいという気持ちと日ごろの感謝の気持ちをメッセージカードに込めました。また、タバコ対策の啓発活動として、学内の副流煙マップやタバコがおよぼす身体への影響・依存についてまとめた啓発ポスターの展示なども実施しました。

### ◇いきいき健康セミナー

本学には、薬学科・理学療法学科・看護学科の3学科が合同で実施している「いきいき健康セミナー」があります。このセミナーでは、健康セミナーに来られた地域住民の方の血圧を看護学科の学生が測定するコーナーや、薬学科と看護学科の学生が連携し、糖尿病コントロールの指標となるヘモグロビンA1c測定コーナーを実施するなど、日々の授業で学んだ知識をいかしさまざまなイベントを実施しています。毎年200人以上の来場者があり、人気のイベントとなっています。



学生によるがん検診率向上のためのイベント



学生による血圧測定コーナー

## 山城祭 (徳島キャンパス)

記念すべき第50回山城祭を2014(平成26)年10月17日(金)~19日(日)の3日間、「now and forever」"今までもこれからもずっとよろしくお祈いします"という想いを込めたテーマで開催しました。

開催期間中は天候にも恵まれ、各団体による展示・模擬店、野外ステージでは人形浄瑠璃部、和太鼓部「億」と徳島文理大学連のコラボで大変盛り上がり大勢の方々に喜んでいただきました。体育館の芸能ライブでは「逗子三兄弟」「今井洋介」をゲストに迎え、歌とトークショーで楽しい時間を過ごしていただきました。

山城祭を開催するにあたり、ご協力いただいた企業・地域の皆さま、クラブ・サークルの皆さんに心より感謝いたします。本当にありがとうございました。2015(平成27)年は、徳島文理大学創立120周年を迎えるので、さらに盛り上がるように山城祭実行委員一同がんばります。楽しみにしてください。今年のお山城祭でお待ちしています！



## 杏樹祭 (香川キャンパス)

「WA 輪 和」というテーマで開催した第29回杏樹祭を好評のうちに終えることができ、一安心しています。ステージのイベントだけにとどまらず、学生たちの模擬店や作品展に込められた熱意が伝わったのか、さまざまな年代の方々がたくさん来場してくださいました。

準備に時間がかかったり、やりとりがスムーズに進まなかったりと思った以上に大変でしたが、がんばったかいがあり、ミス・ミスター文理を選ぶ「BUNRI 総選挙」、「歌うま」、「B級グルメ」などの企画は昨年以上に盛り上がりました。さらに、今年は「どぶろっく」や「キャラバン隊」の皆さんをゲストに迎え、さまざまな世代の方々に楽しんでいただけたと思います。

皆さんの楽しんでいる表情を見て、私たち実行委員も達成感を感じることができました。当日をむかえるまでに多くの方々にご支援、ご協力をいただきました。ありがとうございます。これからの杏樹祭も昨年以上にたくさんの方々に楽しんでいただけるよう、実行委員会一同力を合わせて盛り上げていきたいと思っています。今年もよろしくお祈いします！



## クラブ・サークル紹介

### 軟式野球部 紹介

#### 徳島キャンパス

軟式野球部は毎週月・木・土曜日の3日間、1日約3時間、大学のグラウンドや徳島市民吉野川運動広場を利用して活動しています。部員18人・マネージャー2人の20人で構成されています。

2014(平成26)年9月に行われた四国地区大学軟式野球秋季リーグで創部1年目にして初の優勝という好成績を収めることができました。そして、2014(平成26)年11月に行われた西日本大学軟式野球選手権大会の出場権を獲得することができました。結果は、1回戦で敗退、西日本のレベルの高さを痛感することとなりました。

現在は、この悔しい思いを忘れず、全国でも勝ち上がっていく力をつけるために、部員一同、日々練習に励んでいます。これからも皆さまに応援していただけるようがんばります。よろしくお祈いします。



### 茶道部 紹介

#### 香川キャンパス

私たち茶道部は、現在、男女合わせて約20人で活動しています。毎週木曜日、学内にある茶室「茶意庵」にて、外部の先生にご指導をいただいています。

お稽古は、作法だけでなく茶道の歴史、茶器の鑑賞などにもおおよび、いろいろと勉強になります。静寂の中、お点前に全神経を集中する際は緊張しますが、ときには無の境地に身を置くことも必要だと思います。緊張感を味わった後、自分で点てた一服のお茶を味わいながら、ほっと一息つく贅沢なひとときは格別な趣があります。

主な活動は、7月の七夕茶会と10月に行われる杏樹祭での茶会です。学生、教職員、一般の方々をお招きして、その時季に合った道具や茶器を用いて、四季を感じていただける茶会を催しています。多くの人に来ていただき、年々茶会も盛大になっていますので、部員皆で力を合わせ良き伝統をつくりたいと思います。



## クラブ・サークル大会結果

### 徳島キャンパス

#### ○弓道部

- ・第7回全徳島弓道大会  
女子団体Dチーム優勝  
女子団体Cチーム3位
- ・第21回県下大学選手権大会  
女子団体Aチーム優勝(9連覇)

#### ○準硬式野球部

- ・四国大学準硬式野球秋季大会／優勝

#### ○女子バスケットボール部

- ・全日本大学バスケットボール選手権大会四国予選／準優勝

- 女子優秀選手賞  
人間生活学部3年 宮國加楠江

#### ○卓球部

- ・第48回秋季リーグ四国学生卓球新人選手権大会  
男子団体二部Aリーグ3位  
女子団体二部リーグ2位

#### ○軟式野球部

- ・四国地区大学軟式野球秋季リーグ／優勝

#### ○フットサル部

- ・第20回全日本選手権徳島大会／第3位

- 女子バレーボール部  
・徳島県大学バレーボール秋季大会／優勝

- 男子バレーボール部  
・徳島県大学バレーボール秋季大会／準優勝

### 香川キャンパス

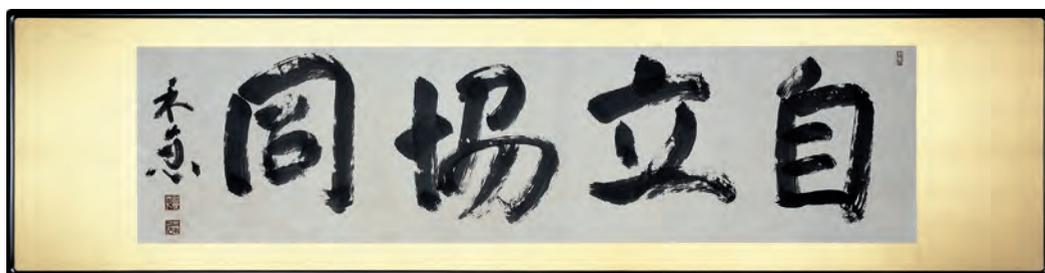
#### ○陸上競技部

- ・第37回中国四国学生陸上競技選手権大会  
三段跳(15m20cm)優勝  
走幅跳(7m19cm)4位  
保健福祉学部3年 榎原 功輝

- ・徳島陸上競技秋季カーニバル  
三段跳(15m10cm)優勝(大会新)  
保健福祉学部3年 榎原 功輝

#### ○トレーニング部

- ・第85回2014年度香川県秋季パワーリフティング大会兼平成27年度第70回国民体育大会パワーリフティング競技香川県予選  
105kg級(スクワット200kg、ベンチプレス150kg、デッドリフト270kg)優勝  
香川薬学部5年 木原 優  
93kg級(スクワット170kg、ベンチプレス90kg、デッドリフト215kg)優勝  
香川薬学部2年 有澤 史也



## 徳島文理大学の建学精神

「自立協同」の建学精神は、学祖村崎サイが1895年（明治28年）7月徳島に私立裁縫専修学校を設立した歴史に由来する。学祖は、「女も独り立ちが出来ねばならぬ」との信念を持ち「女性の自立」を唱えて村崎学園を創立した。1945年（昭和20年）7月、学園は戦火に包まれ灰燼に帰し、村崎サイも学園と運命を共にした。その年の秋、戦野から帰還した村崎凡人前理事長は、学園の復興に精魂を傾け、総合学園の建設をめざした。その過程で、「他からの協力、他への協力なくして、『人間の自立』はあり得ない」との確信に至り、学祖村崎サイの精神を受け継ぎ、「村崎学園」の建学精神を「自立協同」としたものである。この建学精神の意味するところは、生育してゆく人間として、「自立」は重要な到達目的であり、「協同」は「自立」を具現化する方法、とするものである。「協同」は「力を合わせて物事をする」とことなので、個としての「自立」は、「協同」すなわち「他からの協力、他への協力」という体験の中で促される。「ヒト」はその体験を通して人間的な成長を遂げる。学園における教養的教育、専門的学術・芸術探求の教育は、まさに「人間の自立」を促す「協同」の場であらねばならない。爾来、本学はこのような学園の歴史に基づいた「自立協同」の建学精神のもと、教育を推進し、幼、小、中、高、大学・短大併せて9学部26学科、5大学院、3専攻科、そして、6研究所、1相談室を有する総合学園として発展してきた。今後とも建学の精神のもと、ますます精進し、学術・芸術の探究を通して未来を創造する大学でありたいと願っている。

### 徳島キャンパス（徳島県徳島市山城町）

- 大 学 院……薬学研究科(博士課程)／人間生活学研究科(博士課程)／看護学研究科(修士課程)／総合政策学研究科(専門職学位課程)
- 専 攻 科……人間生活学専攻科(児童学専攻・人間生活学専攻)／助産学専攻科／音楽専攻科(器楽専攻・声楽専攻)
- 薬 学 部……薬学科
- 人間生活学部……食物栄養学科／児童学科／心理学科／メディアデザイン学科／建築デザイン学科／人間生活学科
- 保健福祉学部……理学療法学科／看護学科／人間福祉学科
- 総合政策学部……総合政策学科
- 音 楽 学 部……音楽学科
- 短期大学部……商科／言語コミュニケーション学科／生活科学科／保育科／音楽科

### 香川キャンパス（香川県さぬき市志度）

- 大 学 院……薬学研究科(博士課程)／工学研究科(博士課程)／文学研究科(博士課程)
- 香川薬学部……薬学科
- 保健福祉学部……診療放射線学科／臨床工学科
- 理 工 学 部……ナノ物質工学科／機械創造工学科／電子情報工学科
- 文 学 部……文化財学科／日本文学科／英語英米文化学科

### 徳島文理大学ホームページ

<http://www.bunri-u.ac.jp> (PC)



**校章の由来**…Acanthusとは、アカンス属の一種、アカンス・モルリスの葉で、別名ハアザミ。その刺は、事に当たって厳正、的確に処理する優れた知性を、その葉は古代ギリシャの美または芸術に通ずる豊かな情操を具象化し、本学の建学精神である「自立」を具現化した科学と芸術を示すものとして校章に制定されました。